

単元の目標

- (1) 近世の日本の大きな流れについて、世界の歴史を背景に、時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 近世の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 近世の日本に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 中世と近世の建物を見比べたり、15 世紀の世界と日本の動きを大観したりして、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>★中世と近世の将軍が政治を行った建物は、どのような違いがみられるのだろう。</p> <p>○中世と近世の絵を見比べる。</p> <p>○地図や年表を見て、近世の時代の流れや 15 世紀の日本と世界の様子を大観する。</p> <p>・近世の世界では、陸上にも海上にも貿易ルートができています。日本では、江戸幕府が成立したり、鎖国をしたりしている。</p> <p>○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>●戦乱のない安定した時代は、どのように続いたのだろう。</p> <p>○近世社会がつくられていく過程の概略を知り、学習計画を立てる。</p> <p>2 イスラム教とキリスト教の世界について調べる。</p> <p>★イスラム教とキリスト教の世界は、それぞれどのように発展したのだろう。</p> <p>○イスラム教の世界の発展の過程を調べる。</p> <p>○十字軍がキリスト教にもたらした変化を調べる。</p> <p>○宗教改革について調べる。</p> <p>・イスラム教世界と接触したキリスト教世界ではルネサンスや宗教改革などの変化が生じた。</p> <p>○小単元の問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■ヨーロッパ人の来航や信長・秀吉の統一事業は、それまで</p>	<p>・教 P. 104～107</p> <p>・中世と近世の様子を比較して、近世の特徴をイメージし、それと同時に第 4 編の学習問題を明らかにするとともに、近世の時代の流れや 15 世紀の日本と世界の様子を大観させる。</p> <p>・教 P. 104～105 の資料 1～2 を活用して、室町幕府と江戸幕府の建物を比較して、近世の日本に興味をもたせる。</p> <p>・教 P. 106 の年表を活用して、戦国時代を経て安定した江戸時代が続いたことを時系列で捉えさせる。また、教 P. 107 の地図を活用して、アジアとヨーロッパを結ぶムスリム商人の活躍を押さえ、交易の変化が世界を動かしていくことを確認する。</p> <p>【評】近世の日本と世界について調べたり、気付いたことや考えたことを発表したりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・単元を通して、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代との違いを考えるようにさせる。</p> <p>・近世もまた武士が支配する社会であることやヨーロッパとの接触が近世社会の構築に影響したことを確認する。</p> <p>・教 P. 108～109</p> <p>・イスラム教やキリスト教が広まっていく過程に着目して追究させる。(推移)</p> <p>・イスラム教の世界は商人の活動を背景に東西の文化を取り入れた優れた文化を生み出し発展したことを理解させる。</p> <p>・ルネサンスとイスラム文化の関連を捉えさせる。</p> <p>・宗教改革が起こった原因とカトリックが海外布教に向かったことを捉えさせる。</p> <p>【評】イスラム教世界の発展を背景としたキリスト教世界の変化について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

<p>の社会をどのように変えたのだろう。</p> <p>3 つながれてゆく世界について調べる。</p> <p>★なぜ、ヨーロッパ人は航海や探検に乗り出していったのだろう。</p> <p>○ヨーロッパ諸国が新航路の開拓を進めた理由について調べる。</p> <p>○一体化する世界について調べ、それ以前の世界と比べて何が変わったのかを考えたり、説明したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアやアメリカ大陸に植民地が生まれ、多くの先住民やアフリカ人が奴隷になった。 <p>4 ヨーロッパ人の来航と信長について調べる。</p> <p>★ヨーロッパ人の来航は、日本の政治や社会にどのような影響を与えたのだろう。</p> <p>○鉄砲とキリスト教の伝来が与えた影響について調べる。</p> <p>○織田信長の統一事業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桶狭間の戦い ・室町幕府の滅亡 ・長篠の戦い ・一向一揆との対決 ・安土城の築城 ・楽市・楽座令 ・キリスト教の保護 <p>○鉄砲とキリスト教の伝来が、当時の日本社会に与えた影響について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄砲は、織田信長によって使用され、全国統一の歩みを加速させた。 <p>5 豊臣秀吉による全国統一について調べる。</p> <p>★秀吉はどのように全国統一を成し遂げ、安定した支配をつくり上げたのだろう。</p> <p>○本能寺の変から全国統一までの過程を調べる。</p> <p>○太閤検地について調べる。</p> <p>○刀狩について調べる。</p> <p>○秀吉がつくろうとした社会は、どのようなものを説明する。</p> <p>6 豊臣秀吉の海外政策について調べる。</p> <p>○南蛮図屏風を見て、気付いたことを発表し合う。</p> <p>★秀吉は東アジアにおける貿易を重視する一方で、なぜ朝鮮を侵略したのだろう。</p> <p>○東アジアの貿易について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 110～111 ・ヨーロッパ人が航海や探検に乗り出した地域やその背景に着目して追究させる。 (つながり) ・ヨーロッパ諸国が直接アジアの産物を手に入れたと考えたことを捉えさせる。 <p>【評】一体化した世界は、それ以前の世界と比べて何が変わったのかを考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 112～113 ・ヨーロッパ人の来航と信長の統一事業との関係に着目して追究させる。 (つながり) ・教 P. 112～113 の資料 1、8～9 を活用して、戦国大名が戦いに鉄砲を取り入れたり、鉄砲が国産化したりした変化に気付かせる。 ・織田信長が愛知県民にとって身近な人物であることを押さえる。 <p>【評】ヨーロッパ人が伝えた鉄砲とキリスト教が、日本の社会に与えた影響を考えたり、表現したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 114～115 ・太閤検地と刀狩は、社会の仕組みをどのように変えたのかに着目して追究させる。 (比較) ・太閤検地の前後で、どのような違いが生じたのかをつかませる。 ・刀狩の目的を捉えさせ、兵農分離が進んだことを理解させる。 ・中世との違いに留意させ、身分と職業が固定された近世社会の仕組みが整えられたことを理解させる。 <p>【評】秀吉の政策によってどのように全国支配や近世社会の基礎が築かれたか考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 116～117 ・教 P. 116 の資料 1 を活用して、南蛮貿易や南蛮文化に関心をもたせる。 ・秀吉の海外政策の展開に着目して追究させる。(推移) ・秀吉は倭寇を禁じて貿易を盛んにする一方、アジアの盟主になろうとしていたこと
--	---

<p>○ 秀吉の朝鮮への侵略について調べる。</p> <p>7 安土桃山時代の文化について調べる。 ★なぜ、豪華・雄大な文化が生み出されたのだろう。</p> <p>○ 桃山文化について調べる。 ・ 屏風絵や障壁画 ・ 千利休 ・ 天守閣をもつ城 ・ 陶磁器</p> <p>○ この時代の文化の特徴と、それが生み出された理由を調べる。 ・ これまでの文化とは異なり、大名や町衆が担い手となっている。仏教の影響が小さく、豪華・雄大な文化である。</p> <p>○ 小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>8 江戸幕府の成立について調べる。 ★江戸幕府は、どのような仕組みで大名を支配したのだろう。</p> <p>○ 徳川家康による全国支配確立の過程について調べる。</p> <p>○ 江戸幕府について調べる。 ・ 大名配置 ・ 徳川氏の系図 ・ 江戸幕府の仕組み ・ 武家諸法度</p> <p>○ 江戸幕府が長く続いた理由を調べる。 ・ 幕府の圧倒的な経済力と、大名をはじめとするその他の勢力へ厳しい統制を行ったから。</p> <p>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ■江戸幕府は人々をどのように支配していたのだろう。</p> <p>9 身分と職業が決められた社会について調べる。 ★幕府は、どのような仕組みで全国の人々を支配していたのだろう。</p> <p>○ 武士や百姓、町人、「えた」や「ひにん」身分の人々の暮らしについて調べる。</p> <p>○ 江戸時代の身分制について調べる。</p> <p>○ それぞれの身分がどのような社会的な役割を担っていたのかを考えたり、説明したりする。 ・ 武士は支配者として高い身分とされ、治安維持や行政裁判の役割を担った。</p> <p>10 朱印船貿易や鎖国について調べる。</p>	<p>を押さえる。</p> <p>・ 教 P. 117 の資料 5 ～ 6 を活用して、朝鮮侵略と抵抗の様子を理解させる。</p> <p>・ 朝鮮への侵略が、豊臣政権にもたらした影響についても考えさせる。</p> <p>【評】東アジアの貿易と朝鮮侵略の目的を資料から考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 教 P. 118 ～ 119</p> <p>・ 桃山文化と室町文化の特徴や、主な担い手の違いに着目して追究させる。(比較)</p> <p>・ 絵画、芸能、建築、工芸などの項目別に整理し、それぞれの特色や背景をまとめさせることで、この時代を動かしてきた大名や豪商の存在を捉えさせる。</p> <p>・ 成立した時期、担い手の階層、全体的な特徴の三つの点から整理させる。</p> <p>【評】この時代の文化が大名や豪商などの町衆たちに支えられた文化であることを調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 信長・秀吉の政治により、社会がどのように変化したのかについてまとめさせる。</p> <p>・ 教 P. 122 ～ 123</p> <p>・ 幕府の経済力や、大名に対する政策の内容や影響に着目して追究させる。(つながり)</p> <p>・ 教 P. 122 の年表を活用して、武力で他氏を抑えていったことを捉えさせる。</p> <p>・ 教 P. 122 の資料や本文を活用して、大名のみならず、その他の勢力へも厳しい統制を図ったことを捉えられるようにする。</p> <p>【評】江戸幕府による大名支配に関する政策の内容やその目的を調べまとめる活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 参勤交代など、家光の業績について簡単に触れる。</p> <p>・ 教 P. 124 ～ 125</p> <p>・ 身分制の内容や目的に着目して追究させる。(つながり)</p> <p>・ 被支配階級として百姓が年貢を納め、武士の生活を支えていたことを押さえる。</p> <p>・ 教 P. 125 の資料 4 ～ 5 を活用して、商人と職人の暮らしについて調べさせる。</p> <p>・ 家制度や「えた」「ひにん」への差別意識の浸透の様子についても触れる。</p> <p>【評】江戸時代の社会の特色について、身分ごとの役割を考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 教 P. 126 ～ 127</p>
--	---

<p>★幕府の対外政策は、どのように変化したのだろうか。</p> <p>○鎖国政策をとった前後の状況について調べる。</p> <p>○幕府にとっての鎖国の意義を考えたり、話し合ったりする。</p> <p>11 鎖国下での外交政策について調べる。</p> <p>★幕府はどのような国や地域と、どのような関係をもったのだろうか。</p> <p>○中国、オランダ、朝鮮との交流について調べる。</p> <p>12 周辺地域との関係について調べる。</p> <p>★幕府は、琉球王国やアイヌの人々とどのような関係をもったのだろうか。</p> <p>○琉球王国との関係を調べる。</p> <p>○アイヌの文化について調べる。</p> <p>○幕府がそれぞれの地域とどのような目的で交流していたのかを考える。</p> <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>13 江戸時代のさまざまな産業の発達について調べる。</p> <p>★江戸時代の産業はどのように発達したのだろうか。</p> <p>○農業の発達について調べる。</p> <p>○漁業、鉱業、林業について調べる。</p>	<p>・幕府の貿易や宗教への対応の変化に着目して追究させる。(推移)</p> <p>・教 P. 126 の資料 1～3 を活用して、朱印状が何に使われていたのかを考えさせる。</p> <p>・教 P. 127 の資料 10 を活用して、キリスト教の禁止と鎖国の流れを捉えさせる。</p> <p>・鎖国下においても中国とオランダと貿易が行われていたことを押さえる。</p> <p>・政策転換前後における貿易、宗教、情報の三つの側面の関係性を捉えさせる。</p> <p>【評】幕府の対外政策の内容と変化について資料から読み取りまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 128～129</p> <p>・幕府の貿易や情報への対応の変化に着目して追究させる。(推移)</p> <p>・教 P. 128～129 の資料 1～6 を活用して、朝鮮と国交を回復したことや、オランダ、中国との貿易の目的を読み取らせる。</p> <p>【評】対外政策について各国や地域との交易方法や内容をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 130～133</p> <p>・交易の内容や、交易がそれぞれの地域にあたえた影響に着目して追究させる。 (つながり)</p> <p>・教 P. 130 の資料 1 を活用して、琉球王国を征服したことを読み取らせる。</p> <p>・薩摩、松前の各藩を通じて、琉球、蝦夷地との関係を保持していたことを捉えさせる。</p> <p>・教 P. 132～133 の資料を活用して、信仰、くらし、交流の項目から、アイヌ文化が成熟していたことを理解させる。</p> <p>【評】江戸幕府との関わりが琉球王国やアイヌの人々にもたらす変化について考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 134～135</p> <p>・新田開発や新しい技術が生みだされたことの影響に着目して追究させる。 (つながり)</p> <p>・教 P. 134 の資料 1～7 や本文を活用して、新田開発や新しい技術により、田畑の面積や米の生産量が増えたことを理解させる。</p> <p>・教 P. 135 の資料 8～15 を活用して、鉱業と漁業が発展したことについて、他地域や他国とのつながりからも捉えさせる。 その中で、資料 10 にも触れ、当時の様子</p>
---	---

<p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■江戸時代の社会と政治は、どのように移り変わっていったのだろう。</p> <p>14 江戸時代の交通の発達と三都について調べる。</p> <p>★江戸時代の交通はどのように発達し、都市はどのように成長したのだろう。</p> <p>○都市の発展と交通網の発達について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩により、諸産業が発達した。それに伴い、都市が発展したり、交通網の整備が進んだりした。 <p>15 江戸時代前期の政治や、文化と学問について調べる。</p> <p>★江戸時代前期にはどのような政治が行われ、どのような文化や学問が発達したのだろう。</p> <p>○江戸時代の人々の楽しみについて考える。</p> <p>○徳川綱吉の政治について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質を落とした貨幣の発行 ・生類憐れみの令 <p>○元禄文化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近松門左衛門 ・井原西鶴 ・松尾芭蕉 ・菱川師宣 <p>○江戸時代中頃までの学問と教育の状況について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の安定や諸産業の発達を背景として、庶民の間でも寺子屋で読み・書き・そろばんを学ぶようになるなど教育水準が高まった。 <p>16 江戸幕府の政治の改革について調べる。</p> <p>★財政難を克服するために、幕府はどのような対策を行ったのだろう。</p> <p>○享保の改革について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳川吉宗 ・新田開発 ・目安箱 ・公事方御定書 <p>○田沼意次の政治について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株仲間の公認 ・印旛沼（千葉県）の干拓 <p>○寛政の改革について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松平定信 ・百姓の出かせぎの制限 ・旗本、御家人の借金の帳消し <p>○徳川吉宗や松平定信の改革と、田沼意次の改革との違いを考える。</p>	<p>をより分かりやすく捉えさせる。</p> <p>【評】江戸時代の諸産業がどのように発達していったのかまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 136～137 ・交通の発達と都市の成長は、どのように関係しあっているかに着目して追究させる。（つながり） ・教 P. 136～137 の資料 1～9 を活用して、交通網の整備と都市の発展の関係を考えさせる。 <p>【評】江戸時代に産業が発達した原因や結果について考えたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 138～141 ・時期（いつ）、場所（どこで）、担った人々（どのような人）に着目して追究させる。（つながり） ・教 P. 138 の資料 1 は、観客の身分や性別に注目して読み取るようにさせる。 ・教 P. 139 の資料 9 を活用して、幕府の財政の悪化や金の含有率に着目させる。 ・上方を中心に、町人が担い手となって発達したことを捉えさせる。 ・教 P. 140 の資料 13～17 を活用して、朱子学などの学問を奨励し、政治の安定を図ろうとしたことにも触れる。 ・前時までに学習した内容を踏まえ、元禄文化が発達した要因についても考えさせる。 <p>【評】元禄文化が上方を中心に町人が担い手となって発達したことや、武士や庶民にも学問が広まったことについて調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 142～143 ・幕府の財政難の原因に着目して追究させる。（つながり） ・賄賂が盛んになって政治が乱れたことや天明のききんが重なり、田沼意次は老中の座を追われたことを捉えさせる。 ・それぞれの改革についてまとめる中で、徳川吉宗や松平定信の改革と、田沼意次の改革とではどのような違いがあるかを考えさせる。 <p>【評】江戸幕府による諸改革の内容や結果について調べまとめる活動を通して、「思</p>
--	---

<p>・徳川吉宗と松平定信の改革が農業を重視し、倹約に努めたのに対し、田沼意次の改革の内容は、商業を重視した政策であった。</p> <p>17 農村の変化と民衆の動きについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問屋制家内工業と工場制手工業の二つの絵を比べて、気付いたことを発表し合う。 ★江戸時代後半には、社会はどのように変化したのだろう。 ○農村のくらしの変化について調べる。 ○百姓一揆と打ちこわしについて調べたり、それらが多発した要因について考えたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・年貢が重くなったり、ききんが起こったりして生活が困難になったため、百姓一揆や打ちこわしが増えた。 <p>18 江戸時代後期の学問と文化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「伊能忠敬の日本地図」を見て、気付いたことや考えたことを発表し合う。 ★江戸時代後期には、どのような学問や文化が発達したのだろう。 ○国学と蘭学について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・本居宣長 ・杉田玄白 ・シーボルト ・伊能忠敬 ○化政文化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・狂歌、川柳 ・喜多川歌麿 ・葛飾北斎 ・歌川広重 ・瓦版 ○小単元のまとめをして、学習を振り返る。 <p>19 「江戸時代の日本人が知っていた世界の姿」について調べる。</p> <p>★地図から江戸時代の日本人が知っていた世界の姿を読み取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仏教の影響を受けた世界地図と、ヨーロッパ人が中国向けにつくった地図の影響を受けた世界地図を比較する。 ○蘭学の影響を受けた世界地図とそれまでの資料を比較し、江戸時代後期により正確な地図が生まれた理由を考えたり、話し合ったりする。 	<p>考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 144～145 ・農村の変化と民衆の動きに着目して追究させる。(つながり) ・貨幣経済の浸透に伴い、自給自足の生活が大きく変化したことや小作人と地主の階層分化が進んだことなどを捉えさせる。 ・教 P. 145 の資料 5 を活用して、百姓一揆や打ちこわしの発生件数と気候との関連に気付かせる。 【評】百姓一揆や打ちこわしの件数が増えた要因について考えたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・教 P. 146～149 ・時期(いつ)、場所(どこで)、担った人々(どのような人々)に着目して追究させる。(つながり) ・国学と蘭学が広まったことと、これらの学問が社会に与えた影響を理解させる。 ・江戸を中心に民衆が担い手となって発展したことを捉えさせる。 ・元禄文化との違いを、当時の社会情勢の変化に着目して考えさせる。 【評】新しい学問と江戸中心に栄えた化政文化のそれぞれの特色をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教 P. 150～151 ・教 P. 150 の資料 1 を活用して、当時の世界は仏教の世界観が反映されていることに気付かせる。 ・教 P. 150 の資料 2 を活用して、西洋の国々や大陸の形に比べ、アジアや日本の形が不正確であることに気付かせる。 ・教 P. 150 の資料 2 と教 P. 151 の資料 3 を比べ、北方が正確に描かれていることに気付かせる。 ・教 P. 151 資料 4 を活用して、より正確な地図が生み出された理由について記述させ、意見を出し合わせる。 【評】世界地図の変化に着目し、より正確な地図が作成された理由を時代の背景から考えたり、説明したりする活動を通して、
---	---

<p>20 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>★単元の学習を確認して、「近世」の特色をまとめよう。</p> <p>●戦乱のない安定した時代は、どのように続いたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを年表や地図にまとめる。 ○中世と比較や、他地域との関わりから近世を調べる。 ○学習問題について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・経済に着目して、私が考えた「近世」の特色は、商品の生産、流通、販売といった商品経済が発達した時代。 ○明治時代の資料を見て、気付いたことを話し合い、次の単元の見通しをもつ。 	<p>「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 152～153 ・教 P. 152 の資料を活用して、近世の日本と世界の特色についてまとめさせる。年表では、日本とヨーロッパの動きを時系列で捉えさせる。 ・教 P. 153 の資料を活用して、視点に着目させ、意見を話し合わせる。 ・自分が着目した視点から、近世の特色をまとめさせる。 <p>【評】これまでの学習活動を踏まえ、近世の特色について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 154～155 の資料 1～2 などを活用して、「日本の近代化」の学習に関心をもたせる。
--	---

【 備 考 】